

かわさき教育プランイメージ図(案)

社会情勢・市民ニーズの変化
 市民ニーズの多様化・地域化
 学校の情報公開の必要性
 市民社会の成熟化
 県費負担教職員制度改革による政令市への権限委譲

文部科学省の打ち出した「教育改革」の骨子
 「個性」と「能力」の尊重
 「社会性」と「国際性」の涵養
 「選択」と「多様性」の重視
 「公開」と「評価」の推進

川崎市教育目標
 科学的で実行力のある市民
 民主的で明るい市民
 文化的で心身ともに豊かな市民
 生産的でたくましい市民
 国際的ではばのある市民

行財政改革プランの基本的な考え方
 民間部門と公共部門の役割分担
 民間活用型公共サービス提供システム

かわさき教育プランにおける目標
 多様化する価値観のなかで、個々の子どもたちが生き生きと輝く教育を提供すること
 地域のネットワークを効果的に支援して、地域教育力の向上へつなげていくこと

かわさき教育プランにおける各分野の基本的な改革の視点

教育行政
 地域特性に見合ったきめ細やかな教育の実践体制
 地方分権に伴って拡大される権限の効果的な活用
 学校評価制度の効果的な運用
 子どもの個性と地域特性を尊重した教育サービスの選択の拡大へ

学校教育
 地域に根ざした学校運営のシステムづくり
 基礎的な学力をしっかりと定着させること

社会教育
 ハード(市民館・スポーツ施設)及びソフト(市民主体の生涯学習活動)
 を区単位のネットワークとして再編すること

かわさき教育プランにおける各分野の主な取り組み

教育行政
 地域の課題にスピーディかつ横断的に対処するために、区に県の教育事務所的な組織設置を検討
 弾力的な人材活用で最大の教育効果をあげる体制づくり
 学校独自のランドデザインの地域への提示と地域が学校評価をすることによる活性化、地域住民の学校経営への参加
 学区のあり方の見直しや学校選択制度の検討、校長のリーダーシップによる特色ある学校づくり

学校教育
 施設の複合化、新たな学校施設管理手法の導入などにより、学校を地域コミュニティの中核へ
 個々の子どもにきめ細やかな教育を提供するシステムづくり

社会教育
 行政が担ってきた部分を市民主体の活動のコーディネートへ
 市民利用施設の各区への移管
 区単位での学校教育とのきめ細やかな連携

目標の実現
 各学校の取り組みを行政区単位で機動的に支援し、特色ある学校づくりを推進することで生き生きとした教育を実現する
 ハード・ソフト両面で区単位のネットワークを構築し、学校教育・社会教育が一体となることにより、地域教育力の向上につなげていく

施策体系へ
 重点施策へ

教育委員会、学校、区、市民をつなぐ新たなネットワークづくり